

平成30年度 第292回教育研究審議会議事要録

日時 平成30年5月29日(火) 13:30～15:10
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 松尾学長、柳井副学長、梶原副学長、二宮副学長、中尾副学長、田上事務局長、大平外国語学部長、朱経済学部長、田部井文学部長、小野法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、日高基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、任マネジメント研究科長、今泉学生部長、田村教務部長、後藤入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、廣渡評価室副室長

配布資料

- 1-1 教員採用選考報告書(外国語学部)
- 1-2 欠員補充申請書(情報総合センター)
- 2 名誉教授の称号授与について
- 3 再任審査委員会の設置について
- 4 地域創生学群における夜間特別枠の廃止について
- 5 マネジメント研究科及び国際環境工学研究科の3つのポリシーについて
- 6-1 副専攻「環境ESDプログラム」新カリキュラムにおける変更点
- 6-2 Kitakyushu Global Education Programについて
- 6-3 基盤教育センターの基盤教育科目及び学科等の専門科目への副専攻科目の追加について(北方キャンパス)
- 7 2019・2020年度入学試験の主な変更点について
- 8 平成29年度休学及び退学除籍者数について
- 9 大学院担当教員の資格審査結果について

第1号 教員の人事について

* 資料1-1のとおり、新英米学科開設準備室経営戦略論担当教員人事について、選考委員会から採用候補者(寺田真一郎氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

- 7月1日付で新英米学科開設準備室の採用とのことだが、教員評価は、新英米学科開設準備室長が行うということではよろしいか。
- 教員評価については今後調整させていただきたい。
- 今年度、新英米学科ではインターンシップ先、留学先を開拓することとしているが、新規採用教員にも担当していただくことは可能か。その場合は、旅費は外国語学部学部長裁量経費を執行しても問題ないか。
- 面接の際、当該教員には、留学先の開拓等にご協力いただきたい旨、既に伝えている。旅費について、外国語学部学部長裁量経費の執行は問題ないと考えるが、再度確認させていただきたい。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

* 資料1-2のとおり、情報総合センターからの申請に基づき、平成29年10月31日付で退職した米谷雄介助教の後任として、教育工学分野担当教員1名の欠員補充申請について提案。

- 本件は、第276回教育研究審議会(平成29年10月3日開催)で承認された教育工学分野担当教員の欠員補充申請について、選考の結果、適任者が得られなかったため、今年度改めて欠員補充申請を行うもの。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第2号 名誉教授の称号授与について

* 資料2のとおり、名誉教授の称号授与について提案。

- 公立大学法人北九州市立大学名誉教授授与規程第2条の規定に基づき、平成30年3月31日付で退職した教員6名に対する名誉教授の称号授与について提案するもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 再任審査委員会の設置について

* 資料3のとおり、平成31年3月31日付で任期満了となる任期制教員のうち、再任申請のあった2名（地域戦略研究所1名、キャリアセンター1名）の審査を行うため、再任審査委員会の設置について提案。

- 再任審査結果については、8月31日までに学長報告をお願いしたい。教育研究審議会による再任可否の審議は9月を予定している。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 地域創生学群における夜間特別枠の廃止について

* 資料4のとおり、地域創生学群における夜間特別枠の廃止について提案。

- 地域創生学群の夜間特別枠の社会人入学生が減少しているため、2020年度以降の募集は停止し、当該定員を通常枠に振り替えるもの。募集停止に伴い、平成31年度の新社会人教育プログラムの開設に向け、準備を進めることとしている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第5号 マネジメント研究科及び国際環境工学研究科の3つのポリシーについて

* 資料5のとおり、マネジメント研究科及び国際環境工学研究科の3つのポリシーについて提案。

- マネジメント研究科及び国際環境工学研究科の3つのポリシーについて提案するもの。カリキュラム・マップ、ツリーは今後精査を行い、必要な修正を行う。法学研究科、社会システム研究科については、2020年度のカリキュラム再編に向けて、3つのポリシーの見直し作業を進めていただきたい。
- 国際環境工学研究科のカリキュラム・マップの共通科目について、専攻・コースによって、DPの重みづけが異なっているようである。今後、IRを進めていくうえで、同じ科目については重みづけを統一していただきたい。
- 現在、3つのポリシーについて固めたところであり、カリキュラム・マップ、ツリーについては、今後整理していく。
- 社会システム研究科は、「3つのポリシー」「組織再編」「大連外国語大学との協定の具体化」という3つの課題を抱えている。3つのポリシーを策定すると、組織再編の障害になることも考えられる。また、組織再編は、研究科内の検討のみでは困難なため、大学執行部にも調整をいただきたい。
- 組織再編が必要な場合、大学執行部でも調整することになるが、まずは研究科長のリーダーシップのもと、現行の3つのポリシーの見直しを行っていただきたい。組織再編は、これと並行して進めていくことになる。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第6号 副専攻について

* 資料6のとおり、副専攻プログラムの見直し及び副専攻科目の基盤教育科目・学科等の専門科目への追加について提案。

- 平成31年度教育課程の再編に合わせ、副専攻プログラム（環境ESDプログラム、Global Education program）の見直しを行っている。これを踏まえ、基盤教育センター及び各学科等には、副専攻科目の基盤教育科目及び専門科目への追加について検討のうえ、新カリキュラム科目表の修正を6月7日までをお願いしたい。新カリキュラムについては、6月26日の教育研究審議会で承認いただき、確定する予定である。
- 履修ガイドへの表記について、副専攻プログラムの科目一覧表があるのであれば、科目表に副専攻科目を表す表記（【環】、【G】）の記載は必要ないのではないか。
- 副専攻科目については、副専攻プログラムの履修希望者だけでなく、全学生に示す必要があると考えており、科目表への記載は必要ではないか。
- カリキュラム・マップやツリーへの記載も必要か。
- 学生の理解しやすさという観点から、整理、検討したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 2019・2020年度入学試験の主な変更点について、資料7のとおり報告があった。
- ② 平成29年度休学及び退学除籍者数について、資料8のとおり報告があった。
- ③ 大学院担当教員の資格審査結果について、資料9のとおり報告があった。
- ④ 次回の審議会を平成30年6月12日(火)に開催する予定である旨、報告があった。